

---

第 341 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2016 年 4 月 22 日(金) 18 時 00 分～19 時 30 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 中島 貴子 氏 (新潟大学大学院歯学教育研究開発学分野・

講師)

タイトル: 歯周病原細菌感染と脂質・糖代謝の関連

—歯周病を制する者は全身を制する…か?—

歯周病と全身疾患との関連が注目されるようになって、早くも 30 年近くとなる。我々は、歯周病原細菌 *Porphyromonas gingivalis* を経口投与した歯周病モデルマウスを用いて、全身の炎症マーカー、脂質・糖代謝マーカーの変動を示した。さらに最近、*P. gingivalis* 経口投与により腸内細菌叢が変化していることを明らかにした。このことは、歯周病原細菌により腸内細菌叢が攪乱され、リーキーガット(腸管浸漏症候群)となってエンドトキセミア(内毒素血症)をきたし、血管や肝臓、腎臓といった臓器に持続的かつ軽微な炎症を惹起していることを強く示唆している。動物実験によるメカニズム解明と平行して、ヒト歯周炎患者への介入研究によっても、歯周病と全身の代謝の関係の程度を明らかにしてきた。

これらの研究結果の一端を紹介し、口腔細菌叢制御を通じて全身代謝を制御できるのか考えてみたい。

担当:健康増進口腔科学講座 吉成 伸夫